

令和3年7月1日からの大雨による被害 及び消防機関等の対応状況（第38報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和5年2月15日（水）17時00分
消 防 庁 応 急 対 策 室
※下線部は前回からの変更箇所

1 気象の状況（気象庁情報）

- ・顕著な大雨に関する全般気象情報
 - 7月 1日 8時59分 発表 東京都
 - 7月 7日 5時09分 発表 島根県
 - 7月 7日 6時59分 発表 鳥取県、島根県
 - 7月10日 3時29分 発表 鹿児島県
 - 7月10日 7時39分 発表 鹿児島県
- ・大雨特別警報
 - 7月10日 5時30分 発表 鹿児島県（出水市、薩摩川内市、伊佐市、さつま町）
6時15分 発表 鹿児島県（湧水町）
→1 4時32分 大雨警報に切替え（警報解除）
 - 7月10日 5時55分 発表 宮崎県（えびの市）
→1 1時45分 大雨警報に切替え（警報解除）
 - 7月10日 6時10分 発表 熊本県（人吉市）
→1 1時45分 大雨警報に切替え（警報解除）

2 被害の状況

(1) 静岡県熱海市の土石流（7月3日から活動開始）

- 7月 3日
 - ・16人救出済み（死者2、軽傷3）
 - ・16時20分 静岡県相互応援協定に基づき静岡県内消防本部が熱海市へ出動（43隊160人）
 - ・13時30分 静岡県から緊急消防援助隊の出動要請あり
→東京都、神奈川県等（89隊333人）出動
 - ・14時50分 消防庁職員7人を派遣（熱海市消防本部5、熱海市2）
- 7月 4日
 - ・建物被害は130棟程度
 - ・13人救出済み（死者1）
- 7月 5日
 - ・3人救出済み（死者1）
- 7月 6日
 - ・3人救出済み（死者3）
- 7月 8日
 - ・2人救出済み（死者2）
- 7月11日
 - ・1人救出済み（死者1）
- 7月13日
 - ・1人救出済み（死者1）
- 7月15日
 - ・1人救出済み（死者1）
- 7月16日
 - ・1人救出済み（死者1）
- 7月17日
 - ・2人救出済み（死者2）
- 7月18日
 - ・3人救出済み（死者3）
- 7月20日
 - ・1人救出済み（死者1）
- 7月24日
 - ・2人救出済み（死者2）
- 7月27日
 - ・1人救出済み（死者1）
- 8月 6日
 - ・1人救出済み（死者1）
- 8月21日
 - ・1人救出済み（死者1）
- 8月23日
 - ・1人救出済み（死者1）
- 8月28日
 - ・1人救出済み（死者1）

(2) その他（消防本部等情報）

【神奈川県】

- ・ 7月 3日 逗子市内の自動車専用道路で土砂崩れが発生し、車両が巻き込まれて負傷者1人発生（軽傷）→逗子市消防本部により救出済み。その他、被害なし

【滋賀県】

- ・ 7月 3日 3時15分頃 大津市で土砂崩れが発生
→人的被害なし、住家被害あり

【鳥取県】

- ・ 7月 7日 鳥取市で冠水により62人の孤立が発生→解消済み
- ・ 7月 8日 倉吉市の事業所の裏山で土砂崩れが発生（2人軽傷、1人土砂の中にいる模様）、消防隊・消防団で救助活動中（14時59分覚知）
→18時34分 鳥取中部ふるさと広域連合消防局により救出済み。（軽傷）
鳥取市で土砂による道路寸断により6人の孤立が発生
→7月9日解消済み
倉吉市で土砂による道路寸断により24人の孤立が発生。徒歩により通行可能
→7月9日解消済み
倉吉市で河川洗掘による道路不通により6人の孤立が発生。徒歩により通行可能
→7月10日解消済み
- ・ 7月 9日 三朝町で土砂による道路寸断により1人の孤立発生。人的被害なし
→解消済み

【島根県】

- ・ 7月12日 出雲市佐田町で土砂崩れにより3人の孤立発生。
→島根県消防防災ヘリコプターにより3人救出済み。
- ・ 7月12日 雲南市吉田町で土砂による道路寸断により2棟の孤立発生。人的被害なし
→島根県消防防災ヘリコプターにより3人救出済み。
- ・ 7月12日 雲南市三刀屋町で道路冠水により20棟の孤立発生。人的被害なし

【広島県】

- ・ 7月 8日 東広島市で浸水により29人の孤立が発生
→東広島市消防局により救出済み。人的被害なし
- ・ 7月 8日 竹原市で土砂による道路寸断により50人の孤立が発生
→救助要請なし。ライフライン使用可。
→徒歩により通行可能。人的被害なし
→解消済み
- ・ 7月12日 三次市で土砂崩れによる道路寸断により7人の孤立が発生
→備北地区消防組合消防本部により救出済み。

【高知県】

- ・ 7月18日 宿毛市で土砂崩れにより住家1棟が全壊。人的被害なし

【宮崎県】

- ・ 7月10日 えびの市で道路冠水により救助要請
→西諸広域行政事務組合消防本部により1人救出済み。

【鹿児島県】

- ・ 7月10日 伊佐市で浸水により救助要請（119番通報10件）
→伊佐湧水消防組合消防本部により10人救出済み。人的被害なし
- ・ 7月10日 さつま町で道路崩落により34人の孤立が発生
→解消済み

(3) 人的・住家被害（上記(1)(2)の被害を含む。）

都道府県	人的被害						住家被害					
	死者	うち 災害関連死者	行方 不明者	負傷者		合計	全壊	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	合計
				重傷	軽傷							
	人	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟
秋田県									1	54	141	196
茨城県									34	26	12	72
栃木県									7		5	12
群馬県					1	1			3		4	7
埼玉県									1			1
千葉県									4	1	18	23
神奈川県			1		1	2	2		9	15	437	463
富山県											3	3
山梨県										1		1
長野県											8	8
岐阜県											3	3
静岡県	28	1	0	1	3	32	54	13	42	144	205	458
(うち熱海市)	28	1	0	1	3	32	53	11	34			98
愛知県										1	3	4
滋賀県									2		1	3
京都府										4	7	11
大阪府									1		3	4
兵庫県								1	1		10	12
奈良県											9	9
鳥取県				1	3	4			2	23	252	277
島根県							3	26	86	81	611	807
岡山県					1	1					5	5
広島県								78	155	98	512	843
山口県										3	17	20
香川県					1	1					5	5
福岡県									2			2
熊本県									3			3
宮崎県											2	2
鹿児島県									3	64	182	249
合計	28	1	1	2	10	41	59	118	356	515	2,455	3,503

3 避難指示等の発令状況（発令されていた市町村）

都道府県	緊急安全確保	避難指示
秋田県		秋田市、由利本荘市
山形県		新庄市
千葉県		千葉市、銚子市、館山市、木更津市、茂原市、成田市、旭市、勝浦市、市原市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、八街市、南房総市、匝瑳市、香取市、いすみ市、多古町、大網白里市、長柄町、長南町、大多喜町、鋸南町
神奈川県	平塚市	横浜市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町、箱根町、湯河原町
新潟県		糸魚川市
静岡県	熱海市	静岡市、浜松市、沼津市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、焼津市、藤枝市、袋井市、下田市、裾野市、御前崎市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、清水町、長泉町、小山町
愛知県		岡崎市、設楽町、豊根村
京都府		京都市
兵庫県		神戸市、養父市、香美町
和歌山県		すさみ町
鳥取県	鳥取市	鳥取市、米子市、倉吉市、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、南部町、江府町
島根県	松江市、雲南市、飯南町	松江市、出雲市、大田市、安来市、江津市、雲南市、奥出雲町、飯南町、川本町、美郷町、吉賀町
岡山県		津山市、笠岡市、美作市、鏡野町、奈義町、西粟倉村
広島県	三原市	広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町
山口県		岩国市
香川県		丸亀市、善通寺市、三豊市、多度津町
愛媛県		今治市、愛南町
高知県		室戸市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町
熊本県	人吉市	人吉市、水俣市、天草市、芦北町、津奈木町、錦町、相良村、球磨村、あさぎり町
宮崎県		小林市、えびの市、高原町
鹿児島県	出水市、薩摩川内市、伊佐市、さつま町、湧水町	鹿児島市、阿久根市、出水市、薩摩川内市、伊佐市、さつま町、湧水町

4 災害対策本部を設置した都道府県（全て廃止）

岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、鳥取県、島根県、広島県、熊本県、鹿児島県

5 緊急消防援助隊等の活動

静岡県熱海市の土石流事案

《活動人員規模》

被災県名	部隊	活動体制	活動期間
		延べ活動人員	応援県等
静岡県	地元消防機関	約8,600人	7月3日～8月3日 計32日間 熱海市消防本部、熱海市消防団
	県内応援消防本部	約4,500人	7月3日～8月3日 計32日間 静岡県内消防本部
	緊急消防援助隊（陸上）	2,097隊7,961人	7月3日～26日 計24日間 茨城県、栃木県、群馬県、東京都、神奈川県、横浜市消防局、山梨県、長野県、岐阜県、静岡市消防局、愛知県

《救助実績》

被災県名	陸上
静岡県	49人

6 消防庁の対応

- 7月 1日 8時59分 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第1次応急体制）
 12時30分 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席
 13時45分 都道府県、指定都市に対し「梅雨前線による大雨についての警戒情報」発
 出
 7月 3日 12時45分 国民保護・防災部長を長とする消防庁災害対策本部に改組（第2次応急体
 制）
 13時10分 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部に改組（第3次応急体制）
 →11月30日 17時00分 廃止
 13時30分 静岡県から消防庁長官に緊急消防援助隊派遣の要請
 →横浜市、静岡市、東京都、神奈川県に出動の求め
 →5日9時07分 指示に切り替え
 →9日 愛知県に出動の指示
 →11日 山梨県、長野県に出動の指示
 →17日 群馬県に出動の指示
 →18日 栃木県に出動の指示
 →19日 茨城県、岐阜県に出動の指示
 →26日 全隊引揚げ
 14時50分 消防庁職員5人、消防研究センター職員2人（土砂災害専門家）を熱海市
 役所及び熱海市消防本部に派遣
 7月 8日 10時20分 消防庁職員2人（緊急消防援助隊活動調整）を静岡県災害対策本部に派遣
 7月10日 6時17分 大雨特別警報が発令された熊本県、宮崎県、鹿児島県に対し、適切な対応
 及び被害報告について要請
 7月17日 総務大臣及び消防庁長官が熱海市被災現場を視察し、市長等と面会

《消防庁職員の派遣状況》

被災県名	人数	派遣期間
静岡県	計42人	27日間 静岡県、熱海市役所、熱海市消防本部

問い合わせ先
 消防庁応急対策室
 宍戸・田中・小川・小野澤
 TEL 03-5253-7527
 FAX 03-5253-7537